

鳥取市まちづくりワークショップ ～鳥取の明るい未来を切り拓く若者編～

次期鳥取市総合計画 まちづくりワークショップ
開催レポート



今後10年間の鳥取市のまちづくりの目標と方向性を示す次期総合計画の策定にあたり、鳥取での仕事について意見を出し合いました。また、“若者に選ばれるまち”、“若者が活躍できるまち”となるために必要な取組を考え、宣言文を作成しました。

■ 開催概要

日 時：2024年10月26日(土)10:00-12:00
会 場：鳥取市役所 7階展望スペース
参加者：10人

■ プログラム

10:00-10:05 オープニング
10:05-11:55 ワークショップ
11:55-12:00 クロージング

”若者が住みたくなるまち”について考えよう！

ワークショップは、「鳥取市での仕事」について考えるワールドカフェと、「“若者に選ばれるまち” “若者が活躍できるまち”」について市長になったつもりで取組を考え、宣言文を作成するグループワークの2部構成で実施しました。

ワールドカフェとは：カフェのようなリラックスした雰囲気の中で、少人数に分かれたテーブルで自由な対話を行い、他のテーブルとメンバーをシャッフルして対話を続けることにより、より多くの参加者と意見を共有する手法。



Q.鳥取での仕事は〇〇〇！

自然、資源が豊富！ 通勤ラッシュが少ない
ライバルが少ない 開拓できる分野が多い 優しい
深く人と関わることができる 治安が良い
車通勤で1人時間 就職はしやすい

魅力的な仕事がない（分らない） 人口が少ない
交通の利便性が悪い 中心市街地の過疎化
給料が安い 鳥取の本社を構える企業が少ない
他県にあるけど、鳥取県にはないものがたくさん！
自分から行動しづらい 高齢化 ほか多数

Q.“若者に選ばれるまち” “若者が活躍できるまち”となるためには？

イットキ市長宣言！

（イットキ市長宣言）

◆「若者が活躍できるまち」とは

＝若者が活動の場で積極的に意見を出せるまち
様々な体験をすることで意見が生まれると考えたため
（そのためには）
・若者が体験できる、地域の状況を知る機会を増やす
→まちづくりワークショップ等

「リーダーを育成」

◎体験を通して「リーダー的人材」を育成する
…リーダーが周りの若者を巻き込んで、グループを
形成することにより、若者が活躍できるまちとなる

(イトキ市長宣言)

課をつくります！

企業 # イベント # 飲食店 # オープン #
熱しやすく冷めやすい # ワークショップ # 鳥取

- ・既存コンテンツを的確に発信できる環境を整備します！
- ・最新のものがいつでも知れる鳥取市にします！
- ・液晶パネル設置の補助をし、
若者の就職情報など目に入る機会を増やす。
それに伴い、鳥取市の事業のネーミングをチェンジ！



(イトキ市長宣言)

行政が柔軟に**教育**をバックアップしていく！

現状

鳥取は就職先の数は少ないけれど就職採用はされやすいが、県外に帰省してしまう。教員の労働環境が劣悪で、教員が教育の質の向上に取り組むことが困難。労働環境（時間外労働、教員不足など）、低賃金。

施策

行政がすべきこと＝賃金の改善、教員の働き方改革。
教員をすべきことの見直しをする。（取捨選択していく）
新たに核になる教育の柱を設立する。例）埼玉県教育長が取り組んだ英語の教育改革で、公立の生徒たちが英語に関心を持ち実際に喋れるようにする。

若者のために＝教育が大切

公立の学校が良い人間形成ができ、塾に通わなくても学力も向上する。

鳥取で育った子供達が、さらに鳥取に貢献して循環をもたらす。
鳥取で働きたい県外からの就職率もあがり、定住していく。



～参加者の声～

- ・同じ「若者」であっても、年齢や性別、背景の異なる方と意見共有することができて、貴重な機会であったと感じています。
- ・学生目線での鳥取市への想いが聞けて良かった。教員の働き方改善は、ぜひ鳥取市で施行・推進していくべきだと思いました。
- ・みなさんのデメリットや、メリットが似ていて、鳥取の課題としては、しぼられているのかなと思いました。
- ・展望ロビーで、鳥取市を見渡ししながら、未来を考えることができた。
- ・情報発信に力を入れる取組がいいなと思いました。鳥取の最新の情報がSNSなどから手に入れたら住みやすい町だなと思いました。＃課を推進してほしい。